

第22期 決算公告

平成24年 5月 25日

東京都台東区上野7-4-7
ペンタビルダーズ株式会社
代表取締役 南 克明

貸借対照表

平成24年3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,987,158	流 動 負 債	1,817,876
現金預金	751,238	支払手形	905,232
受取手形	97,146	工事未払金	746,374
完成工事未収入金	1,057,716	開発事業未払金	424
建物管理事業未収入金	6,600	未払金	34,157
不動産事業未収入金	46	未払費用	30,017
未成工事支出金	52,495	未払法人税等	15,688
材料貯蔵品	647	未払消費税等	7,805
繰延税金資産	13,423	未成工事受入金	8,800
前払費用	4,348	預り金	46,081
未収入金	2,901	完成工事補償引当金	1,618
仮払金	593	賞与引当金	14,000
固 定 資 産	76,170	工事損失引当金	7,675
有形固定資産	17,860		
建物	5,029	固 定 負 債	44,692
建物附属設備	3,510	長期預り保証金	3,182
什器備品	2,820	退職給付引当金	29,943
土地	6,500	役員退職慰労引当金	11,566
無形固定資産	3,260	負 債 合 計	1,862,568
電話加入権	2,035	純 資 産 の 部	
特許実施権	1,225	株 主 資 本	200,761
投資その他の資産	55,049	資 本 金	50,000
投資有価証券	287	利 益 剰 余 金	150,761
関係会社株式	2,500	その他利益剰余金	150,761
繰延税金資産	18,535	繰越利益剰余金	150,761
その他	33,727	純 資 産 合 計	200,761
資 産 合 計	2,063,329	負 債 純 資 産 合 計	2,063,329

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価の方法	子会社及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法
2. たな卸資産の評価基準及び評価の方法	未成工事支出金 個別法による原価法 材料貯蔵品 先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
3. 固定資産の減価償却の方法	有形固定資産 定率法 但し、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）は定額法。なお、耐用年数及び残存価額については、法人税法の定めと同一の基準によっている。 無形固定資産 定額法
4. 引当金の計上基準	
完成工事補償引当金	完成工事に係る瑕疵担保の費用に備えるため、過去の実績をもとに、将来の瑕疵補償見込を加味して計上している。
賞与引当金	従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、過去の実績を基礎に、支給対象期間基準を基礎とした支給見込額を計上している。
工事損失引当金	当事業年度末手持工事のうち、損失の見込まれるものについて将来の損失に備えるため、その損失見込額を計上している。
退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、簡便法により、内規に基づく期末要支給額を計上している。
役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規定（内規）に基づく期末要支給額を計上している。
5. 収益及び費用の計上基準	当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用している。
6. 消費税等の会計処理	税抜方式によっている。
当期純損益金額	当期純利益 27,700千円

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示している。